

浜松市北区引佐町「久留女木の棚田」において

**学生が自ら栽培・収穫したお米を
一般販売します（本学生協購買ほかにて）**



公立大学法人

静岡文化芸術大学

SUAC

令和4年1月14日

静岡文化芸術大学 地域連携室

【電話】(053) 457-6105

静岡文化芸術大学学生グループ「引佐耕作隊（いなさこうさくたい）」は、同大学の有志学生によって構成され、2016年より浜松市北区引佐町「久留女木の棚田」における耕作放棄地を活用し、お米づくりを行ってきました。引佐耕作隊では、お米を栽培するだけではなく、収穫したお米を販売することによって、持続可能な活動になるよう取り組んでいます。

この度、2021年4月から栽培してきたお米を商品化し、一般販売します。つきましては、報道機関の皆様には、ぜひ販売に関する取材をお願いいたします。

記

名称： 静岡文化芸術大学学生グループ「引佐耕作隊」によるお米販売
日時： 2022年1月17日（月）～1月28日（金）（売切れ次第販売終了）
場所： 「静岡文化芸術大学大学生協」（浜松市中区）
営業時間： 9:30～18:15 定休日：土日祝日
「KISSA 山ノ舎」（同天竜区二俣町）
営業時間： 11:00～17:00、19:00～24:00 定休日：月曜～木曜
「水窪の里の駅 碧-Aoi-」（同天竜区水窪町）
営業時間： 10:00～14:00 定休日：月曜

内容：【商品紹介】商品名：精米「久留女木 棚田の恵」（税込500円／1袋300g〈約2合〉）
産地：久留女木の棚田 産年：令和3年（単一原料米）

【「久留女木の棚田」とは】

浜松市北区引佐町にある観音山の南西斜面（標高250m付近）に位置しています。総面積は7.7ha、その中に約800枚の田んぼがあると言われ、その美しい景観は「日本の棚田百選」や「静岡県景観賞」にも選ばれています。この棚田は、平安時代が起源とも言われ、とくに戦国時代に井伊氏（井伊直虎の祖父）の庇護のもと、開墾が進んだと考えられており、古い歴史と文化を有する棚田です。しかし、最近の農家の後継者不足から耕作されなくなる棚田が多くなっています。棚田が荒れると、棚田の美しい景観も損なわれてしまいます。そこで、静岡文化芸術大学の学生たちで「引佐耕作隊」を結成し、2016年度から「久留女木の棚田」で、お米作りに取り組んできました。

【引佐耕作隊の活動】

引佐耕作隊は、田起こしから田植え・代掻き・水管理・除草・稲刈り・脱穀といったお米づくりの全工程に学生が主体となって取り組んでいます。また収穫したお米（品種はにこまる）は、パッケージデザインについて考え、商品化し、毎年、本学生協購買や市内の商業施設にて販売しています。そして販売で得られた利益をまた次年度の活動費に充てることによって、持続可能な活動になるよう、取り組んでいます。またパッケージのデザイン担当は、本学デザイン学部の在籍生で、“オール静岡文化芸術大学”として、商品化を進めてまいりました。

棚田には、水源涵養・景観保全といった「棚田の多面的機能」があると言われていています。棚田の恩恵を享受するのは、棚田がある地域だけではなく、都市部の住民も当てはまります（棚田があることによって水を貯え、降雨時都市部の河川に流入する水量が減少する・美しい棚田の景観が人々に癒しを与える等）。そのため引佐耕作隊では、棚田で栽培したお米を都市部で販売することを通して、棚田や「棚田の多面的機能」の重要性を訴え、購入すること・食べることを通して「久留女木の棚田」を応援できる仕組みづくりを目指しています。

問合せ先： （報道用）静岡文化芸術大学 文化政策学科 3年 鈴木義人
電話：080-4842-7873 E-mail：yosy785@gmail.com

（一般用）静岡文化芸術大学 地域連携室

電話：053-457-6105（土日祝を除く 10:00～18:00）

以上